

広報たかのす

すくすく、
三歳。

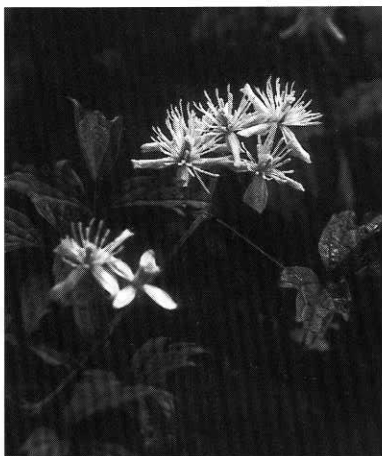


'93

3/15

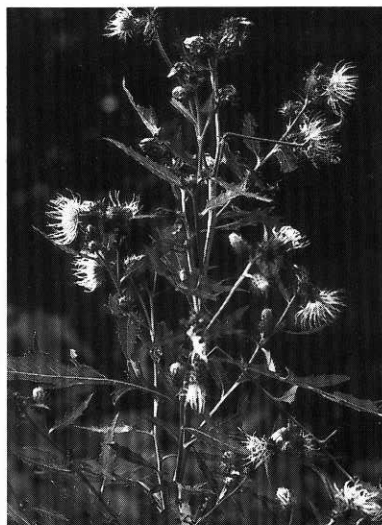


ぼたんずる (きんぽうげ科)



▲
葉の形から「牡丹つる」という よく見るととても派手な花形をしている

なんぶあざみ (きく科)



▲
この地方では、このあざみを「さがりは」という まさに春のかおりのするあざみ

〔佐戸岱 阿部達雄さん〕

15・木	14・水	13・火	12・月	11・日	10・土	9・金	8・木	7・水	6・火	5・月	4・日	3・土	2・金	1・木	31・水	30・火	29・月	28・日	27・土	26・金	25・木	24・水	23・火	22・月	21・日	20・土	19・金	18・木	17・水	16・火
	ポスト愛護週間（ゝ20日）				閉庁日 婦人週間（ゝ16日）			世界保健デー	春の全国交通安全運動（ゝ15日）	町内小中学校入学式								閉庁日				世界気象デー			春分の日	東小（10…00ゝ） 西小（10…00ゝ） 卒業式	南小（9…10ゝ） 綴子小（9…30ゝ） 中央小（10…00ゝ） 卒業式	鷹小（9…30ゝ） 竜森小（10…00ゝ） 卒業式		

〔表紙のこぼ〕



3月3日はひな祭り。中央保育園でもひな壇が飾られ、子供たちに甘酒とごちそうがふるまわれた。

桃の節句が終わると啓蛰。日ざしには春のぬくもりが感じられる季節となり、つくしもすすく、子供もすすく。

人口と世帯数	2月28日現在
	住民基本台帳による

総人口 23,580人 (13人減)
 男 11,343人 (4人減)
 女 12,237人 (9人減)
 (出生 12人 転入 22人)
 (死亡 22人 転出 25人)
 世帯数 7,378世帯 (5世帯減)

■ 四季の野草……………	2
■ 3月定例議会行政報告……………	4
■ 平成5年度施政方針……………	6
■ 「安心して老後を送れるデンマーク」……………	8
ーデンマークの福祉・研修報告ー	
■ 町への提言……………	12
未来たかのす計画委員会／まちづくり	
町民会議	
■ 平成4年度米消費拡大推進大会……………	14
■ まちの話題……………	15
■ 読書感想文コンクール結果……………	16
■ 健康広場……………	18
ー水と命を守る地域講演会ー	
■ 暮らしの情報……………	21
秋田県職員採用試験案内ほか	
■ 粗大ゴミ収集のお知らせ……………	24



「待 春」(ちぎり絵)

松葉町 伊藤昌子さん

3月定例議会

行政報告

平成五年三月定例議会は、三月十日から二十二日までの会期で開かれました。議会は初日に町長の行政報告及び平成五年度施政方針、提出議案の大綱質疑が行われ、十二日に一般質問、十五日から各常任委員会で付託議案を審議し二十二日閉会します。三月定例会の行政報告の概要をお知らせします。審議された議案等は四月一日号広報で報告します。

企画調整課関係

大館能代空港については、国の平成五年度予算に実施設計調査費一億円が認められ、二月二十二日からは地区説明会が開催され、県から用地買収計画、今後のスケジュールなどの説明がなされました。

未来たかのす計画委員会については、二月二十二日、空港周辺開発構想、町の将来構想案が提出されました。今後の指針として活用します。また、まちづくり町民会議についても三月二日に報告があり、実施可能なものから町政に反映させてまいります。

地籍調査事業については、

町民課関係

恒例の消防出初式で、人命救助功績のあった堀部亮一

大字綴子の一部を実施しました。また、三年度調査分については現在登記事務を行っています。



地権者説明会

(七日市)、畠山忠一(三ノ渡)の両氏に町長から特別表

彰をしました。

二月十一日、最終の「福祉のまちづくり懇話会」を開催し、10ワーキンググループの提言を中心に話し合われました。また、当日厚生省老人福祉計画課長補佐の田河慶太氏を迎え講演会が行われました。

東保育園については、二月二日落成式を挙行了しました。平成三年九月以来太田児童館を仮園舎として保育に協力いただいた関係各位に敬意を申

保健課関係

献血事業については、本年度目標に対し、二月十五日現在九一・五二％の実績となっており、三月末日まで目標達成に向け努力してまいります。ごみ減量化対策として、コンポスト、簡易焼却炉の設置に対し、町単独補助事業として実施しておりますが、さらに設置の普及とごみの減量化を進めてまいります。

成人病予防対策事業として、生き生き健康教室を一月二十日から三月四日まで五回実施し、延六三〇名が参加しました。また、二月十六日には

し上げます。



完成を祝う園児ら

「健康で安心して住める町をつくるために」と題した講演会を開催しました。

畜場建設事業の外構工事は、工期を三月三十日までとし、二月末現在の進捗率は九十四％となっております。

鷹巣阿仁広域市町村圏組合が発注している一般廃棄物最終処分場の建設工事は、搬入道路の舗装工事を残すのみとなり、二月末現在の進捗率は九十五％となっております。(財)秋田県保健事業団県北支所は十二月十五日完成し業務を開始しております。

農林課関係

青果物集荷センターの二月末現在の販売額実績は二億八千万円となり、三年度比では、作付面積で三割の増、販売金額で四千三百万円の増となっております。

農協合併については、二月十日開催の協議会において、平成五年九月一日の合併を確認し諸手続きを実施中です。

美田古地区排水対策事業は二月末で完成し、集落排水の整備と排水不良の解消がなされました。

吉野地区基幹農道整備事業は、国道一〇五号線から旧国道間の路盤工事が完了し、五年度の舗装工事で全線開通を

目指しています。

慶祝森林公園については、利用促進のため懸案でありました水飲場及び総合案内板の設置を完了しました。



水飲場、案内板が設置された
慶祝公園

商工課関係

二月末現在、大太鼓の館の入館者は四五、七〇四人（昨年同期三四、一九〇人）、湯の岱温泉利用者は四〇、三〇七人（同四〇、四三七人）となっております。

若年労働者の地元定着をはかるため、一月二十九日地元

就業者懇談会を開催、また、

二月十九日には事業主、高校の進路指導の教員による雇用促進会議を開催しました。この春高校を卒業して町内に就職される方は、男二十一名、女十三名、計三十四名となっております。

建設課関係

二月末現在の各種工事の発注状況は、七十八件、三二一、二九〇千円、公共土木施設災害復旧工事は、二十九件、一四、五二〇千円となっております。

一四、五二〇千円となっております。工期内の完成に努めております。

除雪対策については、少雪にも助けられ早朝一斉出動は十三回であり、道路状態により日中の除排雪を行い、生活道路の確保に努めております。なお、雪消えの状況を待って

水道課関係

上水道事業の経営状況は、給水収益で昨年同期比三・五％の増加であり、順調に推移しております。

簡易水道事業については、舟木沢地区簡易水道事業の下

教育委員会関係

東小学校校舎の改築工事が終了し、新学期から新校舎で授業が開始される見通しとなりました。

公民館関係では、生涯学習の推進と公民館活動の充実を図るため、一月より冬定期講座として十一講座を開設しております。

舗装補修に着手いたします。



舟木吉ヶ沢部落が二月より給水開始しており、深沢部落については本管工事が完了し、三月より試験給水を開始しております。

雪不足で開催が危ぶまれた町民スキー大会も、関係者の努力で選手等約千五百名の参加を得て開催することができました。

町づくり実践の年に

「活力」それは

町民総参加のまちづくり

わが町は、未来に向かって確実な力強い第一歩を踏みだしています。

平成5年度は、「町づくり実践の年」として、

「住みよい福祉の町づくり」

「大館能代空港を核としたふるさとづくり」

「思いやりとやさしさに満ちあふれた人づくり」

「快適な都市づくり」

など、均衡のとれた町づくりを積極的に推進してまいります。

また、「町民の求める質の高いサービス行政を進めるために、効果的に政策を実現でき、町民に信頼される行政組織を目指してまいります。」

これらは、町民の皆様とも力を合わせ全力で取り組んで行かなければなりません。町民各位のご理解とご協力を心からお願いいたします。

Ⅱ施政方針の概要Ⅱ

企画調整課関係

▽大館能代空港について、空港設置許可申請に必要な同意書の取りまとめに全力を尽くします。また、五年度中に用地一筆調査、物件補償調査などが予定されており、県との連携を図りながら、さらに空港を核としたまちづくり構想を進めます。

▽企業誘致については、空港や臨空工業団地の実現をアピールし、誘致活動を進めます。

▽若者が町に対する理解を深め、まちづくりに積極的な提言と参加を促す「遊研修制度」を創出します。

▽第二次国土利用計画については、五年度早々にも提案できるよう進めます。

▽地籍調査事業については、大字黒沢、前山の一部と黒沢から前山までの山間部を対象に実施します。

町民課関係

▽地域における福祉活動の拠点となる「地域福祉センター」設置のため、基本調査、設計に着手します。

▽在宅寝たきり等高齢者のケアのため「訪問看護ステーション」を設置します。

▽ヘルプサービスの充実に努め、また、障害者や寝たきり等高齢者の通院、通所等のサービスを図るため、リフトバスによる移送サービスを実施します。

▽心身障害児の早期療育の場として心身障害児通園事業を実施します。

▽本年度より権限委譲される老人福祉施設等の入所措置権については、高齢者調整チームの判定委員会により調整にあたります。

▽自治消防45周年記念大会にあたり、鷹巣町消防人の士気の高揚を図ります。

保健課関係

▽健康大学等各種の健康講座では、「互いが健康の喜びを気軽に語り合える」を主題に健康づくりを推進します。

▽公害対策監視員（仮称）を地域に配置し、公害の未然防止、ごみの不法投棄防止策を強力に推進します。

▽医療費適正化対策の一環として、高齢者健康指導事業（ヘルスパイオニアタウン事業）の充実、強化に努めます。

▽訪問看護ステーションについては、在宅福祉事業と連携を図り、よりよいサービスの提供に努めます。

農林課関係

▽農業所得の基盤である稲作については、食糧需給の適正化、良質米の生産拡大を

進め、農家経済の安定化に努めます。

▽「新しい食料・農業・農村政策の方向」を具体化するため、農協合併を推進し、農業、農村組織の強化に努めます。

▽農業総合指導センターを核としたフライト農業を目指し、野菜・花き栽培の指導強化、集出荷体制の確立を図るため、運営費補助を行います。

▽農林業野外研修施設（リトルグリーンハウス）を建設し、畜産振興を図ります。

▽葛黒地区県営大区画圃場整備事業と、坊沢土地改良区総合整備事業の早期採択と着工に努めます。

▽林業振興について、町単補助率を引き上げ、民有林の作業道開設を促進し、間伐等林地の適切な保育施策を推進します。

商工課関係

▽婦人の労働力向上を図るため、技術講習を開設し、婦人就業援助を進めます。

▽中小企業対策として、低利の制度資金活用をPRしながら、商工業者の経営の効率化、円滑化を図ります。

▽新卒者、Uターン希望者に地元企業をPRし、若者の労働力確保に努めます。

▽特産品開発のために、「特産品アイディアオリンピック」を開催します。

建設課関係

▽福祉のまちづくりと整合性を図り、町

民にやさしい道づくりに努め、また、高齢化に対処するための高齢者住宅の建設について検討します。

▽都市計画区域、用途地域変更について、空港アクセス道路、工業団地等を考慮しながら、町の将来を見据えたものになるよう検討します。

▽中央公園については、庁内に検討委員会を組織し、全体的な整備計画策定に取り組みます。

水道課関係

▽簡易水道について、明利又地区小規模水道施設整備事業の本年度内の完成を目指す。

教育委員会関係

▽鷹巣中学校の改築にあたり、一日のうち七、八時間を過ごす学校を快適な場所として提供できるよう検討します。

▽心豊かで創造力と行動力に満ちた町民性の育成、郷土を愛する心を育む地域生涯学習を進めます。

▽高齢化、国際化の中で、公民館活動や学習活動を効果的に活用して、ボランティアの養成と、強化充実を図ります。

▽地域住民各層が、自己の体力、年齢等に応じたスポーツに親しめるよう施設の充実に努めます。

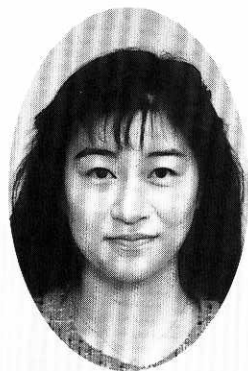


〔デンマークの福祉・研修報告〕

安心して老後を送れるデンマーク

お年寄りが、何の不安もなく暮らせる福祉の国デンマーク。このほど、そのデンマークの「訪問看護制度」を中心とした福祉政策を、町の保健婦、飯田佐智代さんが研修してきました。

伝統的な民主主義と、地方分権制度に裏づけられた、住民本位の福祉。行政と住民が対等の立場で共通の目的に向かいながら、保健・医療・福祉を一体化させている、理想的なデンマークの福祉政策のあり方を報告してもらいました。



保健婦 飯田佐智代
(役場保健課保健係)

研修初日、新鮮な思いでコペンハーゲンの町並みを歩いていると、手をつないで歩いている老夫婦を見かけました。その姿があまりにも自然で、お互いをいたわり合う気持ちが伝わってきました。今回視察訪問をした、デンマークのどの家庭でも部屋の中に多くの家族の写真が飾られ、家族を大切にしているように感じました。このような家族を大切にすることの根拠を支えているように思います。

住民主導型による

改革の実現

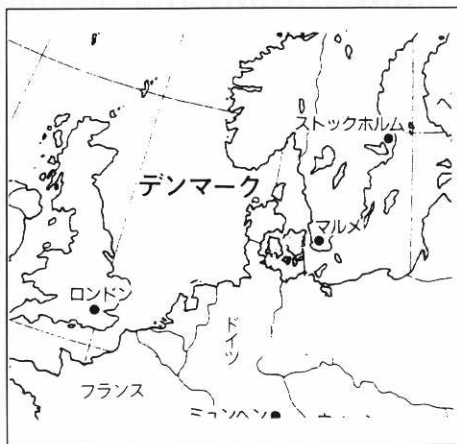
福祉先進国であるデンマークでは、ずっと以前から充実した福祉が行われていた

ように思われがちですが、大改革が起こったのは、ここ五、六年のことです。

高齢化が進み、限られた財源の中で各自治体独自の政策を展開し、互いに切磋琢磨し、競いあっていたのです。

デンマークでは地方分権化が著しく発達しており、特に市の権限が非常に強いのです(●注1)。ここに日本との大きな違いがあります。日本では、福祉を進める上で、国から自治体への権限と財源の分権化がなされていないことが大きな壁になっているようです。

研修では、数力所の自治体を視察しましたが、ホルベック市における「新たな在宅ケア改革」が印象に残っています。改革を進めるにあたり、開かれた、住民参加による方法で実践していたのです。





▲ 最初の研修先、カルンボー市のデイケアセンターでお年寄りが、ヘルパーに付き添われディサービスを受けるため訪れていた。カルンボー市は人口約1万9千人、高齢人口の比率も鷹巣町より低い、ヘルパーの数は約170人（鷹巣町13人）、訪問看護婦は30人（0人）とマンパワーが充実している

高齢者は施設ケアよりも在宅ケアを望んでいることが調査から明らかになり、二十四時間の在宅ケアをシステム化していったのです（●注2）。最も大切だと感じたことは、市の職員と市民が良きパートナーとして対等の立場で共通の目的に向かっていく点です。さまざまなワーキンググループを設置し、徐々に市民に浸透させ、また、アイデアオリビックと題し、提言を集めて討議を繰り返す、そ

の上で初めて議会で決定するというシステムをとっていました。

つまり、提言をまとめあげるまでは政治家には一切口をはさませなかったのです。現在、鷹巣町で行われている作業そのものでした。鷹巣町が目指している目標の完成図を見た思いで衝撃を受け、ぱっと視界が開けたような気がしました。

ただホルベック市で、改革がこのようにスムーズに行われた背景には、長い時間をかけて培われた伝統的な民主主義制度があるのです。歴史的、社会的背景の異なる鷹巣町で、福祉のまちづくりを展開していくには、職員を含め、住民の方々が理解しやすい、よりいっそうの情報提供が必要だと思っています。

24時間体制の 地域総合センター

ホルベック市において最も重要な改革となったのは、各地域に総合センターを設置し、そこを拠点として二十四時間体制の在宅ケア・ショートステイを行い、さらに高齢者住宅、デイケアセンター、補助器具センターなどを設置したことなどでした（●注3）。

センター設置に際して、ワーキンググループごとに討議をくり返し、そこから生まれた提案を実践していったのです。

施設ケアと在宅ケアの統合を図り、それまで施設内だけで働いていた職員も地域へ出ていくようになり、マンパワーを無駄なく合理的に使うことによってサービスの向上にもつながったのです。まさに住民主導型で、金を使わずより良いサービスの提供を実践していったのです。知恵と工夫で金をかけずに福祉の向上が図られることに驚きを感じました。

鷹巣町における在宅ケアを考えると、主に保健婦、ホームヘルパーが訪問していますが、まだ数も少なく残念ながら十分なものとは言えません。ほとんどのケースが家族の手によって支えられているのが現状です。

鷹巣町では、訪問先で涙を見せる家族の姿からは、介護に疲れ、もうこれが限界といった様子がうかがわれます。なんとかして本人にとっても家族にとっても今より少しでも楽になるように援助はできないものだろうか、と思い悩んでも行き詰まってしまうことが多いのです。

たとえば、ショートステイを勧めるにしても、ベッドが開かず、施設へ入所できるときの時間が長過ぎたり、あるいは、家族の世話は嫁や妻が面倒を見るのが当然のことで、施設へ入所させることは恥ずかしいことなんだ、世間体が悪い、といった考え方からショートステイを断ってしまうこともあります。このような方々



▲ カルンボー市で訪問看護婦30人と交流会（日本からの参加者15名）デンマークは保健婦はおらず、訪問看護婦が自分の責任においてヘルパーに指導・助言しながら、要介護者のケアを行う



▲ ホルベック市の高齢者住宅。プライエム（日本の老人ホームにあたる）を住宅に改造したもの デンマークでは高齢者の自己決定権を重視し、この5、6年で施設ケアから在宅ケア中心の福祉政策に移行している

のためにもホルベック市のような総合センターは必要不可欠で、一日も早い設置が望まれます。

明るい表情のデンマークのお年寄り

在宅ケアの実態を知るために、現地の訪問看護と一対一で同行訪問したことは貴重な体験となりました。

働いている訪問看護婦、ホームヘルパーの姿は生き生きとして自信にあふれ、役割もきっちり分業化され、合理的で無駄がないのです。

訪問先で見た高齢者住宅は2DKに広いバス・トイレ付きで、もちろん段差などなく、出入り口も広く、人にやさしい造りになっていました。また、デンマークでは既存のプライエム（要介護高齢者の入所施設）を改造して高齢者住宅にし

ています。当町においても、町営住宅を利用して、このように快適に生活できる住宅を提供できないものでしょうか。

デンマークのお年寄りに接し、強く感じたことは一人ひとりの表情が明るいという事です。鷹巣町の、ある一人暮らし老人宅では、庭は足の踏み場がないほど草木が延び、部屋に入ると独特の生活臭があり、万年床のすぐそばにいつ食べたかわからない皿が散らばり、本人は洗濯されていない服をまとってその中にぼつんと座っていました。そんな姿からは、悲壮感さえ漂ってきます。デンマークと日本（鷹巣町）の一人暮らし老人の表情の違いは、生活の安心度から来るものではないでしょう。

高齢者に「自立心」を失わせない配慮を

デンマークでは、生涯を通して生活の保障があり、一人暮らしでも日に何度か訪れる訪問看護婦、ホームヘルパーが必要に応じて二十四時間体制で訪問し、寝かせきりを造らないのです。朝起きてリフトを利用し、車イスに乗せる事に始まり、配食サービスによる温かい食事の提供、排せつ介助など、就寝に至るまでの援助が満たされています。援助内容は決して「手厚い看護」ではなく、本人の



◀ トーンベッツ市のお年寄り宅をヘルパーと同行訪問した。(後ろがヘルパー) ヘルパーは市の職員で、中年の女性が多い 毎日、複数のヘルパーが交代で24時間体制で訪問する 深夜、必要な時間に警報機で呼ぶこともできる もちろん、寝たきりの人はいない

残存能力をいかし、自己決定権をなによりも優先させ、自立心を失わせないような配慮がなされています。今後、援助していく上で、この自立心にもっと注目していきたいと思いました。

デンマークは個人主義を重視する国で、自己決定ということに慣れ、自立心も高いのです。しかし、年老いてから生きている意味を見出し、障害を持ちながらも健康で幸せに暮らしたいという願いは万国共通のものではないでしょうか。その一人ひとりの願いを現実のものにするためには、さまざまなサービスの種類を整えていく必要があります。

明るい日差しの中で 暮らせるまちに

デンマークでは、経済性と高齢化の問題から必要性が高まり、現在に至った訳ですが、日本ではそれに加えて、いわゆる「スパゲッティ」といわれるような状態に代表される様に、医療過剰という問題を抱えています。医療の高度化が進み、さまざまなチューブを取りつけたままの状態が家庭へ戻ると、援助技術も高度なものが必要されます。このような方々は今後も増え続けることが予想されます。

この大きな問題に対応していくためには、先に述べた総合センターの設置、マンパワー確保と同時に病院との密接な関わりが必要です。住民が主体となり、行政、医師、看護婦、ヘルパー、療法士、保健婦、などが対等の立場で関係し合い、保健・医療・福祉が一体となれたら、どんなにすばらしい事でしょうか。今回の研修で、鷹巣町で進められている福祉の方向は決して間違っていないと確信してきました。

今後も住民の方々にワーキンググループに積極的に参加していただき、「明るい日差しの中で生きている」そんな幸福感を感じながら生活できる町を目指して努力したいと思っています。

●注1〔地方分権化〕

デンマークでは、福祉医療行政サービスのほとんどの決定権は自治体(国・県)に委譲されている。医療は県が担当し、福祉は市(典型的には人口一万人台)の行政が担当している。財政的にも、住民税の形で独自に基盤を造っている。

●注2〔施設ケア(サービス)と在宅ケア(サービス)〕

「ケア」は介護・世話・援助、といった意味。ケア・サービスは、医療・保健サービスとは別に提供される、一定の介護や家事援助を中心にしたサービスで、いわば「福祉」の分野のサービスのこと。在宅ケアサービスと施設ケアサービスに分けられ、デンマークの福祉サービスは、早くから在宅ケアサービスに移行している。

●注3〔総合センター〕

デンマークでも初めは、要介護老人のケアは、主に日本の老人ホームにあたる施設(プライエム)で行っていた。

しかし、自立心が旺盛な高齢者の意識、効率的な財源の運用、といったことから、在宅ケア中心に移行し、その補完施設として数力所の総合センターを設け、ショートステイ(短期保護)、デイケア(昼だけリハビリ等のサービスを受ける)などを行っている。



未来たかのす計画委員会

未来に向けたまちづくりの計画・実施を

このほど町は、「個性的で魅力のあるまちづくり」を推めるための二つの提言（報告書）を受けました。一つは、町の将来像を展望した土地利用の方向を検討する「未来たかのす計画委員会」からの報告、そしてもう一つは、地域の生の声を町政に反映させる「まちづくり町民会議」からの提言です。これを受け、町は産業の振興、福祉の充実など、二十一世紀に向けた諸施策の策定に取りかかります。

まちづくり町民会議



未来 たかのす計画委員会

昨年、大館能代空港は第6次空港整備5カ年計画への格上げが決定され、空港建設地である鷹巣町は、今後ますます、将来像を展望した計画的なまちづくりが必要になってきています。そこで、長期的な視点に立って鷹巣町の土地利用の現状、今後の土地利用のあり方などについて検討し、町の国土利用計画策定の基礎資料として提言してもらうために設置されたのが「未来たかのす計画委員会」（委員長＝清水浩志郎秋大教授）

です。

委員は清水教授をはじめ、県の関係者、町の各団体役員、学識経験者など二十一名で、これまで数回の検討会を行ってきました。

報告された提言の内容は、町に、産業、福祉などの土地利用目的に応じた六つの区域を設定し、それぞれの機能を最大限に生かした開発を提案しています。町ではこの提言を、5年度に策定する第二次鷹巣町国土利用計画の基礎資料として活用する

まち づくり町民会議

「まちづくり町民会議（会長＝佐藤秀男教育長）」は、町民の皆さんの声をより広く町政に反映させるために設置したもので、町民六十人の委員からなり、産業、生活環境、福祉、教育文化の四つの部会に分かれています。

昨年5月に発足以来、各部会とも関連分野の視察研修、数回にわたる討議、意見集約などの過程を経て、この三月二日、最終報告が成されました。

町はこの最終報告を踏まえ、検討を加えながら、5年度以降の施策に反映させていく予定です。

報告された主な提言の内容をご紹介します。

■第1部会（たくましく柔軟な産業のまちづくり）

▽セリの水耕栽培など、冬季の農産物の生産、杉材の一次加工工場設置、大学の林業関係学部誘致などによる農林水産業の振興 ▽大型店、たかのすショッピングセンターの建設

町長日誌

2/16~28

- 16日(火)午前、保健補導員研修会が行なわれ、平素町民の健康増進のため一生懸命お世話をされている皆さんにお礼を述べて、今後一層の活躍をお願いした。午後、ファルコンで健康と福祉の特別講演会が池上洋通氏を講師に行なわれた。健康で安心して住める町を作るためには、手探りの努力が大切とお話された。今月は講演会が目白押し。
- 17日(水)町村定期総会が秋田市文化会館で開かれ、自治功労で表彰される職員と出席。町方からは35年勤続の職員ら多数が表彰される。これまでの勤務に感謝し健康と今後の活躍をお祈りする。午後、陳情のため上京。
- 18日(木)午後、帰庁し衛生施設組合議会に出席する。夜、緑ヶ丘地区道路説明会が開かれ地域の方々に空港アクセス道路の協力をお願いをした。
- 19日(金)午後、行政協力委員全体会議が開かれ、長年にわたりご奉仕頂いておられる方々を表彰。また、町と地域のパイプ役として日夜ご尽力されている委員に町づくりのご意見をお伺いした。
- 22日(月)午後、これまで町の未来を予想し、精力的に進められてきた「未来たかのす計画委員会」が検討の成果を報告、最優先の重要課題として空港周辺開発を提言された。新年度は提言を基に実施計画をたてて積極的に取り組む考えだ。
- 23日(火)夜、前山地区行政懇談会が開催される。
- 24日(水)午前、東小学校敷地国有地の取得で、議員と一緒に大蔵省財務局に陳情する。夜、堂ヶ岱空港建設予定地説明会が開かれ地域の協力をお願いをした。
- 27日(土)鷹巣体協体育スポーツ章授与式が行なわれ出席。100人余りの功労受賞者にお祝いを述べ活躍を祈念した。

ことにしています。

■産業ゾーン(ゾーンII区域)

▽東部(一部既存造成地がある七日市地内の区域)、北部(現在、大區画圃場整備事業が行われている周辺区域)、西部(空港アクセス道西側の沿線区域)の三つの区域を設け緑豊かな工業団地の形成を図る。

■福祉レクリエーションゾーン

中央公園から鉢巻山周辺にかけての区域で、既存の公園や福祉・医療施設を連結させた福祉ゾーンと都市レベルのスポーツ・レクリエーションゾーンを複合的に開発する。

■市街地ゾーン

鷹巣地区を中心とした周辺区域で、住宅地、大型店進出を踏まえた商業区域、歴史・文化財保存地区、米代川の水辺空間、そして駅周辺の機能的な市街地としての形成を図る。

■空港周辺開発ゾーン

ホテル建設など民間開発を想定した区域、広域圏開発区域、また観光農園やフライト農業に対応する農業開発エリアを設け、「ひとにやさしい」空港づくりを心がける。

■歴史文化レクリエーションゾーン

薬師山スキー場から慶祝公園を経て大堤、大太鼓の館に至る区域を歴史・観光ゾーンと位置付け、サイクリング道路等で結ぶネットワークを完成させる。

■自然散策ゾーン

竜ヶ森での山菜取り、小猿部川での溪流釣りなど七日市奥部の自然を生かした開発、湯の岱地区の温泉とモトクロス施設を融合させた観光地としての開発を図る。

などによる商工業の活性化 ▽中央公園の整備、大太鼓の里PRによって観光産業を開発する

■第2部会(安全で快適な生活環境のまちづくり)

▽中央病院を福祉機能を備えた多機能の総合病院として郊外に移転させ、跡地を効果的に利用する ▽空港ターミナルを「障害者や高齢者にやさしい」ものにする ▽地域ごとに防災無線を設置する ▽資源リサイクル運動の推進を図る ▽ゴミ焼却場の余熱の2次利用で、ハウス栽培や温水プールを

■第3部会(健康でいきがいのある福祉のまちづくり)

▽医療施設も兼ね備えた総合的な老人福祉センターの設置を ▽子供のときからの福祉教育を ▽福祉の公共施設整備・改善には、使う側に立っ

た配慮を ▽役場の入り口に総合案内を ▽保健婦を増やして健康教育・相談の充実を ▽薬師山スキー場を通年利用型の施設に

■第4部会(ゆとりと個性のある教育文化のまちづくり)

▽人材ボランティアバンクの設立 ▽文化基金の設置 ▽風土館に隣接させて演劇の大道具類などの倉庫を ▽中央公民館で各文化会館の催物情報紹介、チケット購入ができるように ▽図書館に展示図書 ▽景観の美しい地域や建築物を指定・保存し、また奨励のため「都市景観賞」を設ける ▽通りごとに街路樹の種類を変え、ネーミングを ▽美術館、博物館の建設 ▽海外の都市と姉妹提携を



干し餅（田中・工藤さん）

日本型食生活への見直しを

—平成4年度米消費拡大推進大会—

平成3年度「鷹巣町米消費拡大推進大会」が二月二十六日、中央公民館を会場に行われました。大会では、米の生産者、消費者としての立場からの活動事例発表、米に関する作文入賞者表彰式などの後、当町摩当出身で現在中央果実基金協会事務局長の小坂隆雄さんに「コメと日本農業」と題した講演をいただきました。

× ×

活動事例発表では、まず鷹巣町農協婦人部鷹巣地区婦人部長の成田ミネさんが、昨年開催された種苗交換会に婦人部の食堂を出店された経緯から「毎日の数量がいくらか出るか、見込みがつかめず手探りの状態だった」と運営に苦労された経験を話されました。北生協委員の柳谷純子さん



成田 ミネさん

（鷹巣町農協婦人部
鷹巣地区婦人部長）

は、最近子供のアトピー性皮膚炎が増えていることから「安心して食べられる国産の低農薬・有機米を生産し、学校給食などで子供の時から米の味を覚えてもらえれば、消費の拡大につながるのでは」と提言されました。

また午後からの講演では、講師の小坂さんが「年々米の消費が落ち込んでいるが『売れないから伸ばそう』ではいけない、『米は望ましいものの、守らなければいけないもの』という国民的な合意が必要」と



柳谷 純子さん

（北生協鷹巣地区運営委員）



示唆、成人病を防ぐためにも米主食の日本型食生活が適していること、また、国土の保全にも水田が大きな役割を果たしていることなどに触れ、稲作を中心とした日本の農業を守って行かなければならないことを述べられました。

× ×

推進大会の開催にあたり、町内の小中学校から米に関する作文を募集したところ次の皆さんが入賞されましたので紹介します。

米消費拡大に 関する作文 入賞者

【小学校の部】

▼最優秀賞 金田瑞穂（綴小3年）

▼優秀賞 堀内明香（綴小1年）長崎由貴子（西小2年）

▼入選 明石栄（竜森小2年）宮腰明菜（鷹小3年）九島郁美（南小4年）熊谷笑美（中央小5年）藤島由美子（綴小5年）茂内法智（綴小6年）佐藤美穂子（南小6年）

▼佳作 佐藤智穂（綴小2年）小笠原里美（鷹小3年）戸沢直樹（南小3年）成田元子（西小4年）工藤明香（鷹小4年）長岐美香（南小5年）畠山秀子（中央小5年）

【中学校の部】

▼優秀賞 藤田由香里（鷹中1年）

▼入選 原田聖 斉藤明子 吉田倫子 亀谷和正 村上藍（鷹中1年）

▼佳作 畠山真由子 堀内麻美 熊谷望 金澤啓司（鷹中1年）



おめでとう新たな人生への旅立ち

農林高校、鷹巣高校で卒業式

いよいよ卒業シーズン。町内ではトップを切って、鷹巣農林高校と鷹巣高校で卒業式が行われました。

三月一日に行われた農林高校の卒業式で「伊勢堂の杜」を巣立ったのは百七十四人。式典で、卒業生代表の畠山

正人さんは「それぞれ異なる道を進むことになるが、自立心を忘れぬ人間になりたい」とあいさつ、新しい人生への決意を述べました。

また二日に行われた鷹巣高校の卒業式で学び舎を巣立ったのは百五十九人。式典では「今の感激を忘れることなく障害をひとつひとつ乗り越えていってほしい」との在校生からの激励の言葉に、卒業生代表の佐藤敏宏さんが「全校生徒の協力で輝かしい伝統を積み上げてほしい」と答辞を述べ後輩に母校の伝統を託しました。

両校とも、式終了後は教室に戻り、ホームルームで三年間の思い出話を花を咲かせながら、互いの就職先、進学先の住所を確認し合うなど、高校生活最後のひとときを過ごしていました。

▲鷹巣農林高校で

早期のエイズ教育を

—青少年育成鷹巣町民会議研修会—



青少年育成鷹巣町民会議の研修会が三月三日、中央公民館で行われ、テレビCMなどでも盛んに啓発キャンペーンが行われている「エイズ」について理解を深めました。

この研修会は、エイズが社会問題となっていることからまず大人がエイズを正しく理解し、対応の仕方を身につけようという開かれたもので、エイズの専門家でもある鷹巣保健所の医師、浅沼一成さんの講演が行われました。

浅沼さんはエイズの基礎的な知識、感染のしくみを説明、「エイズ感染者がもっとも多いのは二十代の若者。日本では現時点で感染者数は少ないが、確実に増えていく。若者がエイズによる死で減少すると高齢化率がさらに高まり、今の老人福祉計画が狂う原因にもなりかねない」とエイズが根の深い社会問題であることを強調、エイズ感染者への差別撤廃など全人格的な性教育を踏まえた、青少年への早期のエイズ教育が必要であることを訴えていました。

感想文体験
文コンクール

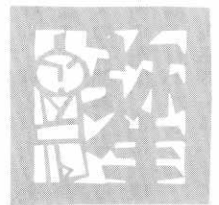
12人が特選に

町教育委員会と読書会が主催する、第二十七回読書感想文コンクールと第十二回読書体験文コンクールの表彰式が三月六日、たかのす風土館で行われました。今回応募された作品は小学生から一般まで全部で二二二編。審査の結果、特選一二編、入選三七編、佳作四四編などが選ばれ、次の方々が表彰されましたので紹介します。

また表彰式後、能代市のボランティアグループ「ジャングルジム」による朗読劇ほかの公演が行われ、風土館ホールいっぱい読書の世界が広がりました。

読書感想文

- 【小学校一年生】
- ▼特選 山口侑太（南）
- ▼入選 小笠原文子（西） 三沢友（綴子） 畠山美美（同） 浪岡奈保子（東）
- 佳作 河田華光（鷹巣） 桜田恵理（中央） 戸沢正樹（南） 畠山翔吾（竜森）
- 【二年生】
- ▼特選 嶺脇恵（西）
- ▼入選 長崎由貴子（西） 高橋守任（綴子） 近藤舞子（鷹巣）
- （東） 山田昌弘（中央） 長岐梢（南）
- 佳作 成田翔（西） 戸沢三冬（同） 佐藤沙優美（綴子） 佐藤瑞樹（東） 岩谷志津佳（同） 伊藤寛子（中央） 鈴木智絵（同） 明石栄（竜森）
- 【三年生】
- ▼特選 斉藤いずみ（西）
- ▼入選 桜井菜穂子（西） 上田麻衣子（鷹巣） 豊村美穂子（同） 中嶋はるか（中央） 神成瑛梨（南）
- 佳作 村上福太郎（綴子） 村上悠（東） 鈴木祐毅（竜森）



3月
（弥生）

●3月の別称

弥生―すべての草木が、春の陽気に恵まれて、いやがうえにも生い茂るという意味。花月、花月見、桃月、春惜月とも呼ぶ。

読書感想文コンクール

特選正解 2一桂成、同銀、3一角成、同玉、4一角成、同玉、4二角、7手詰め。

解説 歩以外の盤上駒を、三枚成り捨てる作品です。2一桂成を同玉なら3一角、2二玉、3一角成、1三玉、2三駒まで。初手3三角成が妙手に見えますが、同銀で詰みません。

詰将棋

●ヒント…金を打つのは何手目か？

10分で2級、4分で二級。

出題 八段 北村昌男

持駒 金

6	5	4	3	2	1
				桂	歩
			角	王	角
				歩	

広報クイズ

広報クイズへのご応募ありがとうございました。2月15日号の正解は次のとおりです。

▼問1 11ふみだら ▼問2 11火まつりかまくら ▼問3 11女性33歳、男性42歳、62歳

■当選者（正解者）は次の方々です。

▽細田美子さん（あけぼの町）
▽鈴木紗絵子さん（宮前町）
▽北嶋チエミさん（あけぼの町）

▽町（▽戸嶋忠さん（南鷹巣）
▽津谷智子さん（材木町）

■3月15日号の問題

▼問1 平成5年度設置予定の医療・福祉施設は「○○○○ステーション」

▼問2 デンマークには日本という「保健婦」はいる？

▼問3 今年の町内二高校の卒業生の数は？（合計数を）

■応募方法

ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて係まで送ってください。正解



【四年生】

▼特選 佐々木隆介(西)

▽入選 近藤環(中央) 小塚

佳代子(同) 九嶋郁美(南)

長岐康徳(同)

○佳作 照内みどり(綴子)

山田峻之(鷹巢) 照内麻希子

(東) 佐藤恵利子(竜森)

【五年生】

▼特選 本城谷早苗(綴子)

▽入選 津谷論(西) 武藤悠

(西) 奈良田純(綴子) 畠山

恵理(同)

○佳作 花田慎司(東) 花田

早樹(中央) 成田彩恵子(同)

本城真納子(同) 佐藤一彦

(南)

【六年生】

▼特選 山田朋美(鷹巢)

▽入選 津谷亮佑(西) 成田

英里香(同) 高橋由利子(綴

子) 豊村智恵子(鷹巢)

○佳作 堀内祐里(綴子) 田

村美幸(東) 嶺脇裕子(中央)

松橋春奈(同) 宮腰絵理子

(南)

【中学一年生】

▼特選 長岐基子(南中)

▽入選 細田樹 田村磨以

(鷹中) 首藤亜文(南中)

○佳作 畠山桂子 畠山真由

子 福岡咲子(鷹中) 池端久

実 神田深雪(南中)

【中学二年生】

▼特選 栗生澤奈保子(鷹中)

▽入選 寺田知子 中島聖子

成田都(鷹中)

○佳作 三澤朋子 花田しの

ぶ 佐藤やよい 新田陽子

五代儀容子(鷹中) 戸嶋真弓

本城真知子 近藤さつき(南

中)

【中学三年生】

▽入選 佐藤友香(鷹中)

【一般】

▼特選 武藤千穂(西小一年

生)・武藤淑子(母) (親子

読書感想文)

▽入選 佐々木潤子(坊沢新

屋敷) 佐藤周子(坊沢大町)

○佳作 佐藤伴世(田子ヶ沢)

佐藤利子(与助岱)

◆読書体験文

▼特選 佐藤香織(南小三年)

福岡公平(南中一年) 嶺脇千

恵子(一般・坊沢大町)

▽特別賞 武内朋子(一般・

綴子上町)

▽入選 高橋千鶴(東小一年)

佐々木伸也(東小二年)

者の中から抽選で5名の方に

テレホンカードをプレゼント

します。

■応募先 〒018-33 鷹

巣町花園町19-1 鷹巣町役

場広報係

◆おたより

●ペットを捨てないで

去年の秋、赤茶色の赤い
首輪をしたメス犬が私の部
落に捨てられていました。

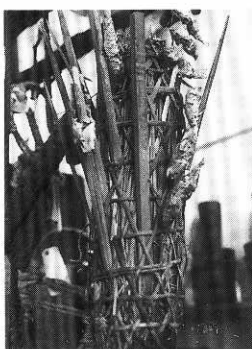
初めはやせていましたが、
近所の人たちからもらうエ

サや他の犬のエサを食べて
今は太っています。

その犬は軽トラックを見
ると追いかけて行くそうで
す。また同じころ、ネコを車
から離して走り去った車も
あったそうです。車で山へ
山菜やキノコを取りに来る
ついでにペットまで捨てら
れたらたまりません。自分
のペットには責任を持って
ほしいと思います。

(七日市松沢・Hさん)

ベンケイ(弁慶)



魚の串などをさす道具。これは
ワラを束ねて作ったもので、串の
先をまわりにさして固定する。昔
はよく農家の天井につるされてい
た。弁慶の立往生姿は、実はワラ
人形であった、という伝説からこ
れをベンケイと呼んだ。

〔松葉町 佐藤富雄さん〕

※今回を持ちましてこのシリー
ズを終了させていただきます。

長い間、ご愛読どうもありが
とうございました。



ふるさとの水・空気・緑を大切に

水と命を守る地域講演会

「山から海へのメッセージ」

講師 船瀬俊介氏

自然を守ることが

私達の命を守ることに

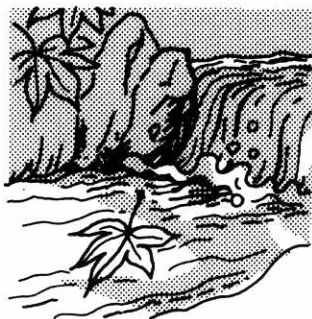
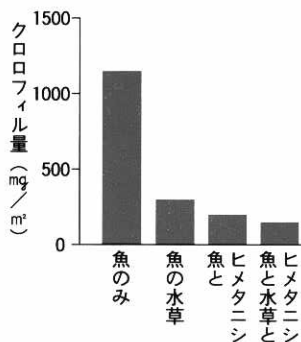
最近、地球温暖化、環境汚染などで地球が危ないといわれていますが、本当に危ないのは我々人間です。非常に不自然な死に方のガンが死亡率のトップにあり、またエイズという異常な死に方、さらに心配なことに、子どものアトピーが増えていることがあります。人類は地球レベルで危ない、人類の歴史の中で大変な時にいることに気付かなければなりません。我々

は暮らしのあり方、地球のあり方を根本から考え直す時がきていると思うのです。地球の命、自然を守ることが、我々の命を守ることにつながります。

自然を守るといふことは、その自然のもっているいろいろな生産能力を守ることになります。例えば、山の木を切ると山の養分が海にいかなくなり、魚はそこに卵を生まなくなります。つまり、山の木を育てるといふことは魚を育てるといふことになります。また、川の護岸工事をする、ヨシや水草、微生物がいなくなり、水を浄

豊かで美しい自然がいまどんどん破壊されています。誰がそうしているのか。そして、それを守るのは誰なのか。私達の生活から切り離すことのできない水をテーマに、水と命を守る地域講演会が二月二十日、たかのす風土館で行われました。自然を守る第一歩は何か、講演を振り返りながら「自然」をいま一度みつめ直してみたいと思います。

表① 水中の生物が多いほど水はきれいになる





船瀬 俊介氏

1950年福岡県生まれ 早稲田大学卒業後、日本消費者連盟に参加 「消費者レポート」の編集、苦情処理、運動等をこなす
著書に「合成洗剤はもういない」、「だから石けんを使う」、「あぶない化粧品」など多数

化する能力がなくなつて水は腐つてしまします(下表①)。人間の体の70%は水分です。水をきれいにすることは体をきれいにすることになり、体がきれいになると病気を防ぐことができるようになります。

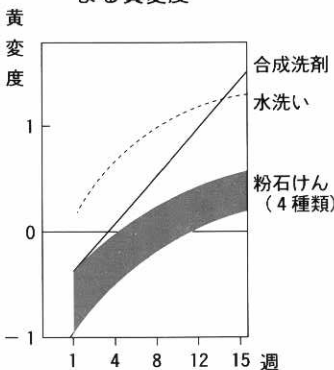
合成洗剤の毒性は石けんの七二〇倍

水が腐つた原因は、合成洗剤、農薬、土木(護岸)工事です。今日から水をきれいにする事で今すぐできることは何か。それは石けんを使うことです。石けんは食用油を使っているため安全性が高く、また、合成洗剤より汚れが落ちることも確認されています(下表②)。合成洗剤にはけい光剤、増白剤などの化学薬品が入っているため、白く洗いがつたと勘違いしているのです。また、合成洗剤の毒性は石けんの七二〇倍といわれています(下表③)。その合成洗剤が日本中で約百万tも流され、小川から水をきれいにする微生物などがどんどん消えているのです。関東ではメダカが絶滅したというニュースもあります。

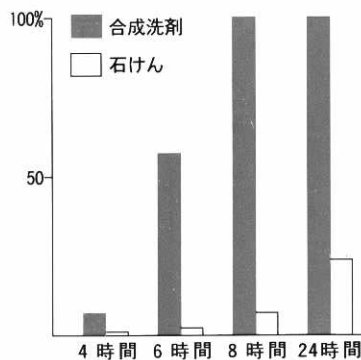
それでは、今の私達の暮らしをどうしたらよいのか。

一、洗濯は粉石けん(合成洗剤の粉石けんではなく)で。粉石けんを水で混ぜてから洗濯物を入れること。直射日光にあてて乾かすと合成洗剤より白く仕上がります(下表④)。影干すると黄ばむことがあります。その時は最後のすすぎの時に酢を盃一杯入れると相当防ぐことができます。石けんで洗うとソフトに仕上がりが、柔軟仕上げ剤も必要なく、肌荒れが防げ、アトピーの子どもにも良いのです。二、台所では固形石けんで。メッシュや布などにしみ込ませ、シャワーノズルで流し洗いをすると、汚れはきれいに落ちます。帝国ホテルでも石けんを使っています。さらに、ある合成洗剤の製造会社の社長も、合成洗剤は危険ということ。石けんを使っているのです。三、歯みがきは歯みがき剤を使わないこと。黄ばみが気になるようだったら、週一回マッチの頭ぐらいのはみがき剤、それも石けん歯みがき剤にすることで、歯はどんどん良くなります。四、頭も石けんシャンプーで。若い女性に枝毛、切れ毛、抜け毛が

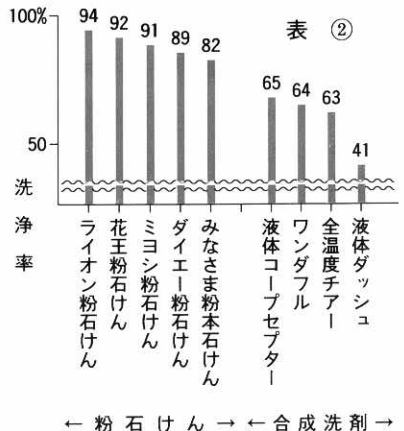
表④ 日光を当てた暴露試験による黄変度



表③ ミジノコの死亡率



表②



← 粉石けん → ← 合成洗剤 →

3月の健康ごよみ

■15日（月）

○母子健康手帳交付と

第一回妊婦教室

受付－午後1時～1時30分

（妊婦教室終了は3時）

場所－中央公民館健康相談室

持参－印かん

内容－母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導、母乳栄養について

- ・役に立つ各制度について
- ・母子健康手帳の使い方について
- ・歯科衛生士によるむし歯予防と指導
- ・映写「すばらしい母乳」

■16日（火）

○リハビリ学級

場所－中央公民館健康相談室

内容－室内運動、作業療法（切絵）

■23日（火）

○4カ月児健康診査

対象－平成4年11月生まれ

受付－午後1時～1時15分

○7カ月健康相談

対象－平成4年8月生まれ

受付－午前9時30分～9時45分

持参－母子健康手帳、バスタオル

※場所はいずれも中央公民館ホールです。

■24日（水）

○健康相談と健康教室

時間－午前10時～午後3時

場所－中央公民館健康相談室

内容－老人ばけを防ぐ

血圧測定、慢性病予防教室

増えたのは、朝シャン、合成シャンプーが原因です。

五、洗顔は水洗い洗顔。クリーム、乳液には防腐剤や殺菌剤などがたっぷり入っているため肌荒れ、しみのもとになります。

山を養い

豊かな実りを

最後に寿命が10～20年延びる食生活についてお話しします。

基本は、カタカナ食からひらがな食に変えることです。そしてキーワードは、「ま・ご・わ・や・さ・し・い」です。「ま」は豆、「ご」はごま、「わ」はわかめなどの海藻類、特にひじきなどが良いとさ

れています。「や」は青菜、人参、カボチャなど緑黄色を中心とした野菜、「さ」は魚、「し」はしいたけなどのきのこ類、「い」は芋です。これらはガンを抑制する作用があることが確認されており、体はどんどん若返っていきます。さらに、お茶もガンを抑制し、治療する作用があります。

ひらがな食をもう一度見直して山を養っていくと、山は豊かな実りをもたらしてくれます。ふるさとの水と空気と緑を大切にし、新しい文化を生み出さなければいけません。その第一歩が自然な石けんで洗ってみることからはじまるのです。

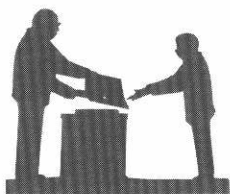
夜間当番医（夜間診療）日程表

3月	曜日	医療機関名	電話番号
16	火	藤原医院	62-2882
17	水	佐々木産婦人科医院	63-0105
18	木	としま医院	62-1267
19	金	戸嶋産婦人科医院	62-1123
20	土	近藤医院	62-1155
21	日	北秋中央病院	62-1455
22	月	奈良良医院	62-1146
23	火	佐藤外科消化器科医院	62-1420
24	水	藤原医院	62-2882
25	木	としま医院	62-1267
26	金	佐々木産婦人科医院	63-0105
27	土	北秋中央病院	62-1455
28	日	盛岡外科医院	62-1101
29	月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
30	火	近藤医院	62-1155
31	水	奈良良医院	62-1146

○応急の診療を要する患者。
○往診はしておりません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受けるケースは、

※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談を受けてください。

暮らしの情報



INFORMATION

保険料の納め忘れはありませんか

国民年金の保険料は、毎月納付することになっています。うっかり忘れていると後からまとめて納めることになり大変です。

また万一の場合、障害年金や遺族年金が受けられなかったり老齢基礎年金が受けられないこともあります。

納め忘れの保険料がありましたら、早めに納めるようにしてください。

なお、納め忘れを防ぐためには、納付組合に加入して集金してもらう方法や、口座振替し、自動的に引き落としする方法がありますのでご利用ください。

納付組合や口座振替に加入を希望する人は、町民課年金

係 ☎ 62-1111 (内線 124・125)へご連絡ください。

国民年金 種別変更の届出

問 会社社員(厚生年金加入)と結婚し退職しますが、国民年金の届出は必要ですか。

答 国民年金には、二十歳以上六十歳未満のすべての人が加入することになっています。国民年金加入者は、独身、既婚、パートなどの収入の有無、配偶者の加入している年金制度などによって種別が異なっています。

あなたの場合、退職しても収入があつて、ご主人の扶養とならない場合は「第一号被保険者」として自分で保険料を納めなければなりません。

また、ご主人の扶養となつた場合は「第三号被保険者」となり、国民年金の保険料負担はありませんが、加入種別が変わってきますので届出が必要です。この届出をしないですと未納の扱いとなりますので忘れないようにしてください。

試験

平成5年度秋田県職員採用試験案内

秋田県職員採用試験を受験される方のために、平成5年度の採用試験の実施予定等をお知らせします。

なお、各試験の募集職種、採用予定人員、実施方法などの詳しい内容については、それぞれの受験案内をご覧ください。

■受験案内・申込書の配布
各試験の配布開始日から次の各機関で配布します。

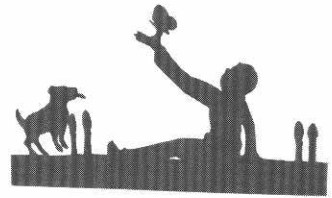
▼全試験 北秋田地方部企

画振興室、県東京事務所ほか
▼警察関係試験 鷹巣警察署ほか各警察署

●郵便で請求する場合は、封筒の表に受験したい試験名を朱書きし、百二十円切手を貼った宛て先明記の返信用封筒を同封して次へ請求してください。

■問い合わせ先 秋田県人事委員会事務局 (〒010 秋田市山王四丁目1-2) ☎ 0188-6013258

試験名	申込書の配布開始日	受付期間	第1次試験日
上級試験 (大卒程度)	5月18日	5月24日～6月10日	6月27日
中級試験 (短大・高専卒程度)	7月16日	8月16日～9月3日	9月26日
初級試験 (高卒程度)	7月16日	8月16日～9月23日	9月26日
警察官A (大卒程度)	5月18日	5月24日～6月25日	7月11日
警察官B (高卒程度)	7月16日	8月2日～9月3日	9月19日
婦人警察官 (高卒程度)	7月16日	8月2日～9月3日	9月19日
交通巡視員 (高卒女子)	7月16日	8月2日～9月3日	9月26日



町外へ就職 就学の皆さんへ

卒業、人事異動期を迎え、鷹巣町外へ就職、就学、転出される方が最も多い時期となりました。

町外へ転出される方は、学生であっても「転出」の届出が必要です。

例年、届出をしない方の主な理由として次のことがあります。

- ▽成人式に出られなくなる
- ▽保険証の扶養からはずれる
- ▽学生だから届けなくていい
- 成人式は、中学校の卒業者名簿によって招待するほか、町教育委員会に申し出すれば招待状が届けられます。
- 扶養については、被扶養者の資格を有していれば、「在学証明書」などの提出により扶養を受けることができます。

学生であっても、届出が必要です。

逆に住民票を動かさないと住民としての様々な権利を失う恐れがありますので必ず届出してください。

※詳しくは、町民課戸籍係 ☎

62-11111（内線122・123）へ問い合わせを。

生徒募集 四月開講

町教育委員会では、生涯学習講座受講生を募集しています。

○高鷹大学Ⅱ町内在住者で60歳以上

年六回の学習とクラブ活動

ホークス・アカデミーⅡ

町内在住者で55歳～65歳まで、年六回の学習で二年間

募集人員15名位

県コミュニティ カレッジへのお誘い

鷹巣阿仁広域交流センターを会場に、コミュニティ・カレッジを開催します。

○生活科学Ⅱ神秘的な宇宙等

○日本文学Ⅱ平家物語等

○ふるさとの歴史探訪Ⅱ

考古学から見た米代川流域

○美術工芸Ⅱ水墨画、水彩画

▽教材費
年間24回Ⅱ七、二〇〇円

年間12回Ⅱ三、六〇〇円
▽各コースへのお申し込みとお問い合わせは、教育庁北教育事務所へ。

☎0186-62-1217

技能検定

（国家試験）の案内

平成5年度前期技能検定を実施いたします。

この検定に合格されると消費者に信頼される「技能士」（職業能力開発促進法）と称することができます。

▽実施職種
機械加工、建築大工、建築板金、内装仕上げ施工、プラスチック成形、製麺など47種79作業

▽試験日

6月11日（金）～9月12日（日）までの間の指定された日

▽実施等級

一級、二級及び単一等級があり、それぞれ受検資格が必要です。

▽受検申請書の配布、受付

・秋田県職業能力開発協会（秋田市新屋字向浜一丁目2-1）

慶弔だより

2月16日～28日

誕生おめでとう



ございます

福原 雅美（利論 長女） 新田中

鈴木茉莉子（静匡 長女） 平成町

澤藤 雄大（米雄 長男） 上舟木

千葉 健成（和弘 二男） 中屋敷

金枝 雛子（富勝 長女） 宮前町

米沢 真央（健吾 長男） 糠沢

おくやみ申し上げます

畠山ユキノ（77歳） 中畑

佐藤三司郎（86歳） 四渡

小笠原菊治（68歳） 小ヶ田

畠山 ヨス（78歳） あけぼの町

中嶋 與吉（70歳） 脇神

戸嶋 チエ（95歳） 相善町

千葉 一郎（68歳） 本郷

花田 正（68歳） 脇神

中嶋 米助（67歳） 脇神上野

櫻庭 一（44歳） 下町

畠山益穂

草一途展

鷹巣地方の山野草押し葉1,000点

3月19日(金)～21日(日)

AM9:00～PM5:00

●鷹巣阿仁広域交流センター

郷土の植物研究家、故畠山益穂(ますほ)さんが生涯をかけて集大成された、植物標本1千点と、遺作品の数々を公開いたします。

「サンインヒキオコシ」「ハイカイソウ」など、貴重な山野草がごらんになれます。(押葉標本)

■主催 畠山益穂・草一途展実行委員

■後援 秋田県立博物館 町教育委員会 町芸文協 七日市同期会 鷹巣野草を観察する会 五山会 県北報公会 秋北新聞社 県北新聞社



ハイカイソウ

1977年発表、森吉町桐内で採集している。岩手・秋田の一部でしか見られない珍しいもの

第4回

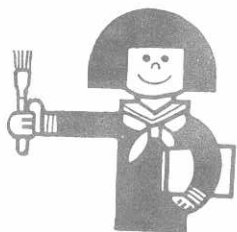
鷹巣町美術展覧会

●3/19日(金)～20(日)

●中央公民館ホール

展示作品 日本画 洋画

書道 写真 工芸



▽受付期間
4月5日(月)～4月16日(金)まで。

※詳しくは県職業能力開発課

☎0188-60-2324

又は、県職業能力開発協会

☎0188-62-3510

へご連絡ください。

森林組合

テレビ放映

鷹巣町の若手林業従事者の働く姿がテレビで全国に紹介されることになりました。

今、全国的に林業の若手従事者が減り高齢化が進んでいますが、鷹巣町森林組合ではこの三年間積極的に高校新卒

者を採用、事業の活性化につながっていることから、昨年の十月に取材を受け、このたび全国に紹介されることになったものです。

森林組合の若者たちの活気に満ちた働く姿が放送されますのでどうぞ御覧ください。

▼日時 3月27日(土) 午前6時15分～30分(15分)

番組名 A K T 秋田テレビ

「秋田杉と若者たち」

(農林水産省提供)

お済みですか

自転車防犯登録

自転車の防犯登録とは、警察、防犯協会連合会、自転車防犯登録協会が実施している

もので、秋田県警察名入りの一連登録番号を記入した車籍証(登録ステッカー)が貼られたものです。

▽手続き 町内の自転車販売店全てで、登録手数料500円で一切の手続きをやってくれます。

▽登録の利点 登録をしますと自転車に盗難にあった場合や、放置されている自転車の持ち主を車籍証によって、早期に探し出すことができます。

雪どけとともに、自転車の利用も多くなる季節になりました。あなたの大切な自転車の盗難防止のためにも、車籍証を貼り、自転車を守りましょう。

香典返し

このたび次の方から、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金をいただきました。

▽坊沢大町 長崎恵一さんから亡父源三郎さんの香典返し

▽四渡 佐藤昭一郎さんから亡母イトさんの香典返し

▽平成町 福田公人さんから亡父精治さんの香典返し

▽舟見町 藤嶋悟さんから亡父良治さんの香典返し

▽坊沢上町 能登谷フミエさんから亡夫実さんの香典返し

▽向黒沢 山内清種さんから亡父清松さんの香典返し

▽川口 中嶋忠さんから亡父喜代治さんの香典返し

▽松葉町 津谷栄七さんから亡母ナヨさんの香典返し

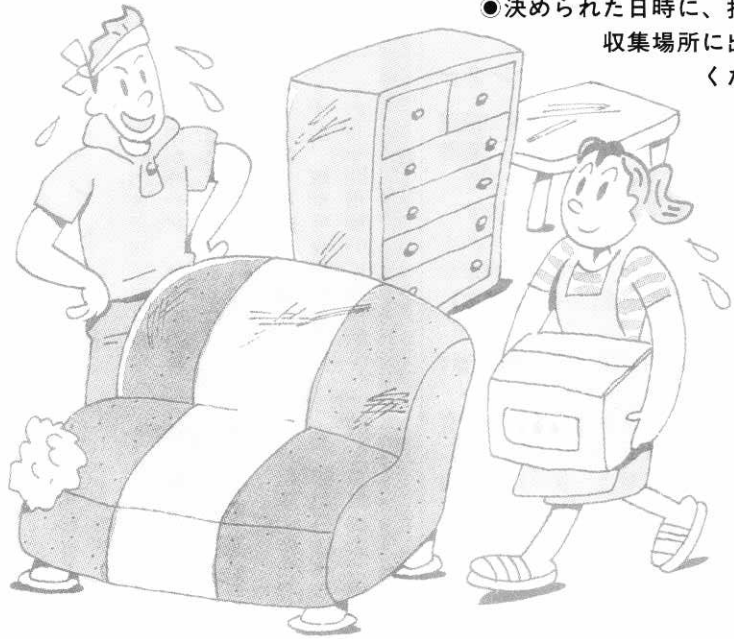
4年度町税の納期限は過ぎています。

未納の方は、お早目に納付してください

粗大ゴミを収集します

3月22日(月)～3月27日(土)

●決められた日時に、指定の
収集場所に出して
ください



■詳細は役場保健課衛生係へ (☎62-1111)

粗大

ゴミの収集については、普通の収集ゴミ(燃やせるゴミ・燃やせないゴミ)と収集日が異なる

ります。また、広いスペースが必要なことから、収積所も異なる地区もありますので、別に回覧するお知らせで確認のうえ、正しくゴミを出してください。

● 商店・事業所等から出るゴミは収集しません

● 定期収集している燃やせるゴミ・燃やせないゴミは収集しません

収集月日	地区
3/22(月)	栄地区 掛泥 高野尻
3/23(火)	沢口地区 南 鷹巣 緑ヶ丘 蟹沢
3/24(水)	七日市地区
3/25(木)	七座 坊沢地区 (緑ヶ丘・蟹沢を除く)
3/26(金)	鷹巣地区(南 鷹巣を除く)
3/27(土)	綴子地区(掛泥・高野尻を除く)

○ 収集するもの	× 収集しないもの
◆テレビ(80cm角以下) ◆洗濯機(80×60×80cm以下) ◆冷蔵庫(60×60×150cm以下) ◆スチール家具類(60×60×130cm以下) ◆木製家具類(110×80×150cm以下) ◆自転車 ◆オートバイ (50cc以下完全に油を抜いて) ◆ジュタン・ふとん類 (150cm以下に切断して) ◆ストーブ(完全に油を抜いて) ◆肥料用ビニール袋(束ねて結んで) ◆その他の電化製品等	- 大型鋼板、角材 - 車のタイヤ - 家屋等解体ゴミ - 木の根、生木 - プロパンボンベ - ワイヤーロープ - ドラム缶 - コンクリートがら - 大型農機具 - ベットのスプリングマット - その他危険物等